

津久戸

7月号

平成30年6月29日

新宿区立津久戸小学校

水泳指導について

今年度の水泳指導が6月18日(月)より始まりました。プール開き集会では、5年生の代表児童が頑張りたいことを立派に話してくれました。また、今年度より泳力表を見直しました。大きな変更点は以下の2点です。

- ①クロールと平泳ぎを分けたこと。
- ②低学年の頑張りを認められるようにしたこと。スモールステップにすることで、どの児童にもできた喜びが味わえるようにという思いで変更しました。一人一人が目標を明確にして、今年度の水泳学習に取り組んでほしいです。

また、今年度は高学年でグループ学習を取り入れてみます。泳力の異なるグループを作り、互いの泳ぎを見合い、助言しながら練習に取り組んでいきます。少しでも泳力を伸ばしていきたいと思えます。

水泳は大きく体力を使う運動です。水泳指導のある日は、朝食をしっかりと、十分な健康観察を行ってください。水泳カードの検温の記録と、押印または保護者のサインを確認したうえで、お子さんに持たせるようにしてください。



主体的な関わりを

副校長 内藤徳子

先週末の学校公開には、たくさんの保護者の方や地域の皆様においでいただき、ありがとうございました。ご参観いただくことが励みになり、子どもたちは楽しく学習に取り組むことができました。

さて、先日、2年生と一緒に新宿中央公園へ「ザリガニ釣り」と自然観察」の学習に行ってきました。新宿エコギャラリーのスタッフの方から説明を受け、一人1本の釣り竿を借り、池の周りを囲みます。次々に釣り上げるザリガニに歓声を上げながら、どうしたらザリガニを逃がさないように釣り上げることができるか、どの辺がたくさん釣れそうか…など子どもたちはあれこれ会話をしながら挑戦します。それぞれが正に主体的に関わり、自分の発見や気づきを自分なりの言葉に表します。そして友達と関わりながら工夫を重ねます。自然観察のグループでも、スタッフの方にいろいろなことを教えていただくと同時に、自分の知識や体験を結び付けて友達同士で話題を共有して対話に発展していく場面がたくさん見られました。体験を終え、持って行った飼育ケースに、自分の分のザリガニ1匹と少しの水を入れてもらい、大切に大切に持って、学校へ戻りました。どの子どももとても満足そうに、手元のザリガニをいとおしそうに見つめて、歩く時も電車の中も大切に飼育ケースを抱えていました。学校へ戻ってからの学習は、さらに深い学びへとつながるはずです。

新学習指導要領に示される「主体的・対話的で深い学び」の原点が生活科の学習にはあります。新宿という大都会の中で、こんなに自然と触れ合うすばらしい体験ができることもとても幸せです。

もうすぐ、学期末、そして夏休みです。普段と違って親子で一緒に過ごす時間が多くもてることと思います。どうぞこの機会に、子どもに豊かな体験をさせ、主体的に様々なことに関わらせ、子どもとの時間を豊かにお過ごしください。特別なことを企画しなくても、遠出をしなくても、長い休みだからこそ体験できることがたくさんあります。それぞれのご家庭でよい時間を過ごし、子どもたちがまた一回り大きくなって2学期を迎えられることを願っています。

道徳授業地区公開講座を終えて

道徳授業地区公開講座は、学校・家庭及び地域社会が連携して子どもたちの豊かな心を育むとともに、小中学校等における道徳教育の充実を図ることを目的として開催しています。

今年度は、6月22日(金)の2校時に全クラスで愛国心・国際理解をテーマに授業を行いました。3、4校時は日本を代表する尺八奏者である川村葵山先生と箏奏者である川村利美先生をお招きして、お話を聞きました。野球や建築などまったく別の道に興味をもちつつも、最終的に父親のやっていた尺八にのめり込んでいった経緯やコンクールでの挫折をばねに必死で練習したことなどをお話くださいました。子どもたちも諦めない心、失敗を生かすこと、日本の代表としての自分の存在等について感銘を受けていました。

今年度からはよいよ道徳の教科化が始まりました。本校では「対話する道徳を大切に」を合言葉に一時間一時間の授業を行っています。頭ではよいと分かっている様々な価値について、今の自分はどうか、どうしたらよいのか、ほかの友達はどんな風に感じているのかということ进行交流し合い、深めていく時間としていきます。ぜひご家庭でも、道徳の教科書とノートを、一緒に読んだり話し合ったりしてみてください。

【学年の窓から・・・2年生】

学年が一つ上がり、黄色い帽子から青い帽子に変わったことを喜んでいた子どもたち。「もう2年生なんだ。」と勉強も行事も意気込み十分に取り組んでいます。進級して急に学習が難しくなり、宿題も量をこなすのに精一杯だったようです。ようやく学習のペースもつかめてきました。

先日は、新宿中央公園でザリガニ釣り、自然観察を体験しました。2年生全員でザリガニを87匹も釣ることができ、マイザリガニとして育てています。ザリガニ釣りでは、初めはなかなか釣れずに苦戦していましたが、だんだんコツをつかんでいる様子が見られました。自然観察ではドクダミの葉は虫刺されや傷に効くと聞き、早速、虫刺されの場所にあて、「かゆくなくなった」と言っていました。

これからもたくさん「自分で体験する」学習を通して、心も体も大きく成長してほしいと願っています。

次の授業は、国語の「スイミー」。自然と子どもたちが、一人で音読を始めています。授業の始めに音読回数を聞くと、60回、70回・・・全て暗唱している子も数名いたのには驚きました。ご家庭でも音読を聞いていただき、毎日の積み重ねの中で、子どもたちの読みが変容していく姿は、とても嬉しく思います。

また、以下のような風景が日常的に見られるようになってきました。

- ・「みんな名札をつけて！」という声かけ。
- ・当番でなくても、「何か配るものはありますか」「何かできることはありますか」という声かけ。
- ・給食の準備・片付けは、当番だけではなく、必ず手伝う子がいます。
- ・掃除のない水曜日にも、給食後ほうきでゴミを集めてくれる子がいます。

このように、人の役に立つことを少しずつ気づき、意識できるようになってきています。

7月の生活目標

『身の回りのものを大切にしよう』

- ・教室や廊下をきれいにしよう。
- ・みんなのものを大切にしよう。
- ・後かたづけをきちんとしよう。
- ・学期のまとめをしよう。

